おおふなと 社協だより

2020年11月号

ふれあいネットワーク

今月の表紙

及川和希（おいかわかずき）さん・智美（さとみ）さん
珀（はく）くん（4歳）・麦（むぎ）ちゃん（1歳）

【特集】コロナ禍で世帯の生活の安定と経済的自立を図るために……2～3
第1回KOSONOWA……4
筋力トレーニング教室……4
花巻市立南城中学校……5
子育て支援ボランティア養成講座……5
お知らせ……6～7
輝き人……8

コロナ禍で世帯の生活の安定と経済的自立を図るために

生活福祉資金貸付制度で安定した生活を

○生活福祉資金貸付制度とは

民生児童委員の「世帯更生運動」をきっかけとして昭和30年に制度化された公的貸付制度です。所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯に、利用目的に応じた資金の貸付と必要な相談支援を行う制度で、対象世帯は貸付の種類によって異なります（図1参照）。生活資金について心配事があれば、まずは社会福祉協議会へご相談ください。

※現在新型コロナウイルスの対策として、「密」を避けるため、予約制となっています。

○新型コロナウイルスの影響で収入が減少した人へ

今年の3月から新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯を対象に「緊急小口資金特例貸付」と「総合支援資金特例貸付」を行っています。当初は9月末で終了する予定でしたが、今般の状況を鑑み、申請を12月末まで延長することになりました。

○進学を支える教育支援資金

世帯の収入減などにより、子どもの就学にかかる費用に悩んでいる人もいるのではないでしょうか。「教育支援資金」は入学時にかかる費用や授業料だけでなく家賃などの生活費も対象となります。

【図１】生活福祉資金の種類と内容

※貸付には審査があり、世帯の状況に応じた貸付になります。　＊のある資金は、民生児童委員の調査書が必要です。

資金名		対象世帯	借入目的の例	貸付限度額	貸付利子	備　考
総合支援資金	生活支援費	低所得世帯	生活再建するまでの生活費	(単身)月額15万円以内 (複数)月額20万円以内	年1.5% (連帯保証人を立てる場合、無利子)	・失業等給付、生活保護年金等の他の公的給付金を受けている場合は対象とならない ・生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の利用が必要
	住宅入居費		住宅の賃貸契約のための経費	40万円以内		
	一時生活再建費		生活再建するために一時的に必要な経費	60万円以内		
福祉資金	福祉費＊	低所得世帯 障がい者世帯 高齢者世帯 生活保護世帯	・引っ越しするための経費 ・起業するための経費 ・葬祭費 ・免許取得のための経費 ・自家用車購入のための経費	580万円以内		・見積書が必要
	緊急小口資金	低所得世帯 障がい者世帯 高齢者世帯	・公共料金支払い後の生活費 ・初任給までの生活費 ・給与盗難後の生活費 ・ライフライン維持のための経費	10万円以内	無利子	・生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の利用が必要
教育支援資金＊	教育支援費	低所得世帯 生活保護世帯	・高校、大学、専門学校等へ就学するための経費	(高校)月額3.5万円以内 (高専)月額6万円以内 (短大)月額6万円以内 (大学)月額6.5万円以内		・日本学生支援機構給付型・第一種奨学金（無利子）で賄えない場合
	就学支度費		・入学準備のための経費	50万円以内		
生活資金＊不動産担保型		高齢者世帯	・生活費	土地評価額の70%以内	年３%	・居住建物を担保とする
特例貸付	緊急小口資金特例貸付	コロナの影響で収入が減少した世帯	一時的な生活維持に必要な生活費	20万円以内	無利子	・総合支援資金特例貸付は返済開始までに自立相談支援機関からの支援が必要
	総合支援資金特例貸付		日常生活維持のための生活費	月20万円以内×３か月以内		

新型コロナウイルスの影響により収入が減少し、
生活費の確保が困難となっている世帯へ

特例貸付

①生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付

対象世帯　新型コロナウイルスの影響で、収入が減少し、緊急かつ一時的な生活維持に必要な生活費が不足している世帯

貸付額　20万円以内（１世帯につき１回限り）

月額返済額　約8,400円
（貸付金額20万円 ２年で返済の場合）

②生活福祉資金（総合支援資金）特例貸付

対象世帯　新型コロナウイルスの影響で、収入が減少し生活維持に必要な生活費の不足が続いている世帯

貸付額　（単　　身）月15万円以内
（２人以上）月20万円以内
※最大３か月

月額返済額　約5,000円
（貸付金額20万円×３か月10年で返済の場合）

子供の進学にかかる費用にお困りの世帯へ

教育支援資金

教育支援費・就学支度費

対象世帯　文部科学省所管の学校に入学する予定で、低所得者世帯や生活保護世帯

貸付額と月額返済例

学校種別	教育支援費	就学支度費	合計貸付額	月額返済額（20年返済の場合）
大学　（４年制）	月65,000円	500,000円	3,620,000円	約15,000円
短期大学 専門学校（２年制）	月60,000円	500,000円	1,940,000円	約8,000円
高等学校（３年制）	月35,000円	500,000円	1,760,000円	約7,300円

※文部科学省所管以外の学校でも別資金で対応できます。

注意点

・教育支援資金を利用する場合、日本学生支援機構給付型・第一種奨学金（無利子）の利用申請をしていることが必要です。
・教育支援資金は、申込時から償還完了までお住まいの地区の民生児童委員が相談支援に応じてくれます。

地域子育て支援センターの連携強化

第1回KOSONOWA

社会福祉協議会では、市民協働により、子どもの成長を支えあう地域づくりを進めるため、子育て支援活動に携わっている人や子育て家庭、一般市民と意見交換を行う「大船渡市子育て支援ネットワーク会議（通称KOSONOWA）」を開催しています。

今年度は、市内4ヵ所の地域子育て支援センター同士の連携強化をテーマとし、9月25日（金）に開催しました。

ニーズや課題を付箋に書いて貼り出し、グループワークごとに意見を出し合いました

この日は、事前に実施したアンケート結果を基に、拠点の特色や利用者層、活動内容などの共有、グループワークにより今後の課題やニーズの抽出を行いました。

運営側からは「市内における子どもの減少や保育園へ入園する月齢が早いことから、活動内容を見直したい」「拠点同士の情報共有をするため、定期的に集まる場が必要」などの意見が挙げられました。

また、子育て家庭からは「緊急時や通院などで利用できる一時預かりを実施している施設や利用方法を教えてほしい」「入園の手続き方法を知りたい」などの声が聞かれ、サービス利用に関する情報提供が行き届いていないことが分かりました。

それらの意見を踏まえ、各拠点の連携強化を図りながら、子育てしやすい環境整備の議論を深めるため、近日中に第2回目のKOSONOWAを開催する予定です。

頭と体のストレッチで若々しく

筋力トレーニング教室

Y・Sセンターでは、無理なく楽しく効果的にできるトレーニング方法や、自宅でできるストレッチを学べる筋力トレーニング教室を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、開催を見合わせていましたが、ソーシャルディスタンスを保ち、密にならないように人数制限などの予防策を講じながら9月に教室を再開しました。

前半は、ゆったりとした音楽にあわせ、足の指先から全身の筋肉を伸ばすストレッチを行います。5分の休憩をはさみ、後半はスクワットや腹筋など下半身の筋力トレーニングのあと、後出しジャンケンやグーパー体操などを行います。頭の体操も取り入れることで認知症予防にも効果が期待できます。

密にならないよう参加人数を制限しながら開催

再開を待ち望んでいた参加者からは、「やっと先生に会えてうれしいです。歳を重ねるとだんだん体が動かなくなってくるので、先生から教えてもらったストレッチを家でもやりたいと思います」、「和気あいあいとした雰囲気で、自分のペースでトレーニングができるので、体への負担も少なく楽しくできます。来週も頑張りたいです」と話してくれました。

今年度は、感染防止対策を講じたうえで、参加定員を調整して開催していく予定です。申し込み状況により希望する教室に参加できない場合がありますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

大船渡を思い今年も復興ボランティア

花巻市立南城中学校

ボランティア活動センターでは、市内をはじめ、全国の個人や団体から寄せられるボランティア活動に関する各種相談や活動調整に対応しています。

今回は、花巻市立南城中学校（中村哲校長）の生徒56人が、東日本大震災の復興教育の一環でボランティア活動を行いました。

南城中学校は、東日本大震災後、２０１６年から毎年大船渡で海岸清掃などのボランティア活動を行ってきました。今回は、公共施設の花壇の整備などを通したまちづくりを進める「おおふなと花の会」の協力のもと、大船渡の復興の象徴であるキャッセン大船渡周辺の河川清掃と草取り作業、花植え作業のもととなる「たねダンゴ」づくり、プランターへの植え付けに取り組みました。

ボランティア活動を通じて、大船渡の復興について学びました

活動終了後には、ボランティア受入をしてくれたお礼と大船渡への激励を込めた「南中ソーラン」が披露され、居合わせたお客さんやキャッセン大船渡で働く人からたくさんの拍手が送られました。

たねダンゴづくりに取り組んだ印南日向さんは、「たねダンゴづくりは初めてで、丸くまとめることに苦労しました。私たちが作ったたねダンゴから芽が出て、ここに大きく綺麗な花が咲きますように願いを込めて作りました」と活動の思いを話してくれました。

子どもを安心・安全に預かるために

子育て支援ボランティア養成講座

社会福祉協議会では、大船渡市から委託を受け、子育てを応援してほしい人（おねがい会員）と応援できる人（あずかり会員）が会員登録し、援助を行うファミリーサポートセンター事業を実施しています。

事業の円滑な実施に向け、おねがい会員が安心して子どもを預けられるよう、あずかり会員の知識習得や当事業への理解、援助活動の質の向上を目的とした子育て支援ボランティア養成講座を毎年開催しています。

今年度は、10月7日～11月4日の毎週水曜日（全5回）に開催しました。内容は講習カリキュラムを基に、保育士、保健師、栄養士、心理士、司書などの専門職から、子どもと関わる上での心構えや注意点、離乳食の進め方、乳幼児の発育・発達のメカニズムと関わり方などを講話で学びました。また、実技では、「わらべうた」や「絵本」によるスキンシップ方法を紹介してもらいました。遊び歌や手遊び、参加型の絵本などの選び方ひとつで、多様なスキンシップが図れることを学ぶことができました。

絵本の選び方や読み聞かせ方について学びました

全日程を終えた受講者から「自分の子育て時代と違い、育児用品が向上していたり、アレルギーへの理解や対処法など新たに勉強になることが多かった」「改めてお子さんを預かる際の安全性の確保が重要だと感じました」などの声が聞かれました。

ファミリーサポートセンターの登録や利用方法について詳しく知りたい人は、お気軽にお問い合わせください。

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、12月18日（金）（午前10時～午前11時50分）に開催します。

＊岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます

相談についての問い合わせ・申込みは下記までご連絡ください。

介護のしごと相談日程（12月）

開催日	場　所	時　間
7日(月)	大船渡市Y･Sセンター	午前9時～午後3時
8日(火)	おおふなとぽーと	午前10時～午後3時
10日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
14日(月)	大船渡市Y･Sセンター	午前9時～午後3時
17日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
21日(月)	大船渡市Y･Sセンター	午前9時～午後3時
24日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

※8日(火)はお子様と一緒にご相談可能です。

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター　坂本さん

電　話　080－8201－0200

メール　n-sakamoto.shakyo@mopera.net

＊大船渡市ボランティア活動センター情報

視覚障がい者理解教室受講生募集

視覚障がい者への接し方や生活、点字や音声訳ボランティアについて理解を深める講座を開催します。参加には事前申込みが必要です。

日　時　12月16日～1月20日（12月30日を除く毎週水曜日、全5回）
午後6時30分～午後8時30分

場　所　大船渡市総合センター学習室

内　容　視覚障がい者への理解、点字、移動支援ボランティアなど

定　員　先着10名まで

受付期間　12月15日(火)まで

参加費　無料

＊共同募金情報

歳末たすけあい募金協力のお願い

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

申込・問い合わせ先　大船渡市社会福祉協議会　電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染状況により中止となる可能性があります。

＊子育て支援事業情報

子育て支援LINE公式アカウント開設

子育て支援事業のLINE公式アカウントを開設しました。自宅にいても気軽に情報を得ることができ、相談することもできるようになりました。ぜひご利用ください。

(1)つどいの広場の利用予約
(2)育児相談
(3)子育てイベントのお知らせ

@046ghkgo

ちびっこひろばinおおふなと

東日本大震災いわて子ども支援センターのご協力のもと親子向けイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

日　時　12月9日(水)午前10時30分～正午

場　所　大船渡市Y・Sセンター

対象者　乳幼児の子育てをしている親子家族

内　容　(1)大型遊具の設置
大型ふあふあキッズトランポリン
大型ダンボール遊具
(2)親子で楽しむ創作あそび作家谷口國博(たにぞう)さんのリモート公演

参加費　無料

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日　時　毎週火曜日
【午前の部】午前10時～午前11時50分
【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません。

場　所　おおふなぽーと2階和室

＊Y･Sセンター情報

第3期トレーニング教室受講生募集（1月～3月）

下記の日程でトレーニング教室を開講します。事前申込みが必要です。

場　所　大船渡市Y・Sセンター
受付期間　12月15日(火)～12月23日(水)
受付時間　午前9時30分～午後5時（土曜・日曜を除く）
申込方法　申込書に受講料を添えて申込み（電話での申込み不可）
受講料　水曜、金曜クラス各1,200円（会場利用料別）

トレーニング教室日程

教室名	時　間	開催日	定　員
水曜クラス	午後1時30分～午後2時30分	1月6日～3月24日（全12回）	20人
金曜クラス(午前の部)	午前11時00分～正午	1月8日～3月26日（全12回）	

第４期水泳教室（12月～3月）受講者募集

下記の日程で各種水泳教室を開講します。事前申込みが必要です。

場　　所　大船渡市Y・Sセンター
受付期間　12月8日(火)～12月18日(金)
受付時間　午前9時30分～午後5時（土曜・日曜を除く）
受付方法　申込書に受講料を添えて申込み（電話での申込み可）

※電話申込みの場合は受付期間中に申込書と受講料を持参してください。受付期間中に持参されない場合は予約取消となりますのでご了承ください。

受 講 料　スイスイ水泳教室　800円、ラクラク教室・リラックス教室・チャレンジ水泳教室　各900円、イキイキ教室・児童水泳教室　各1000円

水泳教室日程

曜日	教室名	時間	開催日	定員	内容
火	スイスイ水泳教室	午前9時30分～午前10時30分	12月22日・1月12日・19日・26日 2月2日・9日・16日・3月2日　全8回	15人	水泳指導（初級～中級）
		午後1時30分～午後2時30分		10人	
水	ラクラク教室	午前9時30分～午前10時30分	12月23日・1月13日・20日・27日 2月3日・10日・17日・24日 3月3日　全9回	20人	水中運動
		午後1時30分～午後2時30分			
	リラックス水泳教室	午後6時30分～午後7時30分		15人	水泳指導
木	チャレンジ水泳教室	午前9時30分～午前10時30分	12月24日・1月7日・14日・21日・28日 2月4日・18日・25日・3月4日　全9回	15人	水泳指導（中級～上級）
		午後1時30分～午後2時30分		10人	水泳指導（初級～中級）
金	イキイキ教室	午前9時30分～午前10時30分	12月25日・1月8日・15日・22日・29日 2月5日・12日・19日・26日・3月5日　全10回	20人	水中運動
		午後1時30分～午後2時30分		20人	
土	児童水泳教室	午前9時30分～午前10時30分	12月26日・1月9日・16日・23日・30日 2月6日・13日・20日・27日・3月6日　全10回	25人	水泳指導

申請受付を行っています。希望する団体は事務局までお申込みください。

受付期間　12月15日(火)まで
助成金額　10,000～200,000円
対象経費　①地域住民を対象として行う福祉活動に直接使用する機器、用具の購入経費
②活動拠点立ち上げに必要な機器・用具の購入経費

寄付・寄贈の受入（10月）（敬称略）

指定寄付　匿名（高齢者、障がい者支援事業）

災害義援金受入（10月）（敬称略）

令和2年7月豪雨災害義援金　Y・Sセンター募金箱

の一環として地域住民やボランティア、民生児童委員、社会福祉施設、関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう募金をお願いするものです。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

実施期間　12月1日(火)～31日(木)
目 安 額　1世帯200円
※各地区の行政連絡員さんに取りまとめをお願いする予定です。

令和３年度福祉のまちづくり支援事業募集

地域において身近な福祉課題解決に取り組んでいる団体を支援するため、下記助成事業

今月の表紙

及川和希さん
智美さん
珀くん
麦ちゃん
（末崎町在住）

お父さん・お母さんの願いは、何にでも自由に挑戦し、みんなに優しく元気いっぱいに育ってほしいことです。

我が家のペット

我が家の
「タリンちゃん」

寒い時はやっぱり手の上が一番だなぁ!暖かいなぁ～♪
僕はヒョウモントカゲモドキのタリンだよ。トカゲじゃなくてヤモリだよ～
よろしくね♪

猪川町
ペンネーム わんどら

投稿写真大募集！

投稿方法は３つの中からお選びください！

①写真データをメールする
ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付

②写真を郵送する
〒022-0006
立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係

③本会に直接写真を届ける

①～③ 共通
- **一言説明コメント**
- **名前（ペンネーム可）**
- **住所（町までで可）**を**必ず添えて**ください。

次号締め切り
12月7日（月）

どしどしご応募ください！

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください

輝き人

佐々木　洋一（よういち）さん（90歳）

盛町在住。大船渡市グラウンドゴルフ協会や老人クラブの会員として、今もなお現役で仲間とともに活動を続けている。

地域でいきいき暮らすことが長寿の秘訣

○地域に貢献したい思いは今も

私が長年勤めた会社は、転勤が多い職場でした。子どもたちは卒業式を迎える前に引っ越すことが多く、可哀そうな思いをさせてきたと思っています。

私が生まれ育った地域でゆっくり過ごすことができたのは、定年退職後。長年地元を離れていたので、少しでも故郷に貢献したいという思いから、統計調査員や公民館長、神社総代など、地域の役を進んで引き受けてきました。

○グラウンドゴルフ歴約20年

グラウンドゴルフを始めたきっかけは、20年ほど前に大船渡市グラウンドゴルフ協会の立ち上げに携わったことです。グラウンドゴルフを通じて、健康づくりだけでなく、地域を盛り上げたいという思いがありました。

健康づくりとはいえ、競技なので勝つための練習は欠かせません。悪天候や用事がある日以外は週5日、午後1時から3時まで盛川河川敷グラウンドで練習をしています。先日開催された老人クラブの大会では144人中8位、協会の盛支部大会では準優勝の成績を収めることができました。

グラウンドゴルフの仲間では、私が練習を休むと心配して電話をくれたりします。仲間を思いやる気持ちが本当に嬉しく、ありがたいことだと思っています。仲間や日々の食事で体調管理に気を配ってくれる妻に感謝しながら、これからも体力が続く限りグラウンドゴルフを続けていきたいと思っています。

○地域の名所や伝統を置物に

また、身近にあるものを使って置物を製作することが趣味です。角材を削り、包装紙や和紙を貼り付け色を塗って作っています。今までに椿、鹿踊り、穴通し磯や曲禄などを製作してきました。

好きでやっていることですが、この細かい作業で手先を使うことも、健康長寿の秘訣かもしれませんね。手作業が好きな高齢者を集めて、一緒に置物作りが出来ればいいなと思っています。

○これからの私

以前は当たり前だった、人と人との繋がりや助け合いの心が希薄になり、寂しさを感じます。今となっては様々な会合で発言する機会も減りましたが、これからの大船渡市、盛町をさらに発展させていくための仕組みづくりに関わっていけたら嬉しいです。

佐々木さんお手製の置物の一部
福祉の里センターに展示中です

見つけてHappy　風が冷たくなって、いよいよ冬の気配が！さて、今月の社協だよりの中に**黄金のどんぐり（表紙のにこにこんが持っている色）がいくつかまぎれこんでいます。**さがしてみてね！

おおふなと社協だより　No.324　2020年11月　編集・発行／社会福祉法人　大船渡市社会福祉協議会　〒022-0006 大船渡市立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内
TEL 0192-27-0001 FAX 0192-27-0800
Eメール ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp
ホームページ http://ofunato-shakyo.com

「おおふなと社協だより」は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物性インキを使用し、共同募金配分金を活用して発行しています。